※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　倫理」（第一学習社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「倫理」は、豊かで充実した人生を送るために、「この私とは何か」「私はどのように生きるべきか」といったことについて、先人の思想を手がかりに、悩み、考え、自らの方向を定めていくことをめざした学習です。

２　学習の到達目標

a:知識及び技能

現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を利用し、読解しながら、現代の社会的事象と人間としての在り方、生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。

b:思考力、判断力、表現力等

身につけた知識と自分の身近な事柄とを関連させながら、各々が課題を見いだし、事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察する力を養う。

c:学びに向かう力、人間性等

自分らしい自分になるために行動する意欲を持つとともに、自分や他者、社会との関わりから主体的に学び考える態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	先人の思想や現代社会の特質についての基礎・基本的な知識を理解し、自らの人生観・世界観を形づくるための知識として身につける。資料をメディアや文献等を通して収集し、必要な情報を取捨選択し、まとめている。	これまで身についている知識や他者からの意見などを自分なりに結びつけ、そこから何が得られるのか想像し、自分の納得いく解答を導き出している。	先人の思想や生き方、自分自身がどのようにあるかについて関心を高め、自分らしい自分になるために行動する意欲を持つとともに、これらにかかわる諸課題について、自分や他者、社会との関わりから学び考える態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	人間の心と自己形成	青年期の課題と自己形成	a: 人間がどのように感じ，学び，考え，行動し，発達するかに関して，心の仕組みと成り立ちを理解している。 b: 自分の生きている青年期はどのような発達課題があるのかを考えている。様々な人間の心のあり方を踏まえて，人間とは何かを思索を深めている。 c: 様々な人間の心のあり方について，対話や作文などを通して学習を深めたりしている。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	ﾉｰﾄ提出 授業態度
	人間の存在や価値と宗教	ギリシアの思想 ユダヤ教とキリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想	a:古代ギリシアの思想，ユダヤ教・キリスト教，イスラーム，仏教，中国の思想について理解している。 b:古代ギリシアの思想，ユダヤ教・キリスト教，イスラーム，仏教，中国の思想の現代的な意義を考察している。 c: 古代ギリシアの思想，ユダヤ教・キリスト教，イスラーム，仏教，中国の思想について自己の課題と結びつけて思索している。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	ﾉｰﾄ提出 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2	人間のあり方と社会	人間の尊厳 科学革命の時代と自然観 自由で平等な社会の実現 人間性の回復と主体性の確立	a:ルネサンス・宗教改革・モラリストの思想，近代科学・ベーコン・デカルトの考え方，社会契約説・カント・ヘーゲルなどの思想，社会主義・実貪主義などの考え方について理解している。 b: ルネサンス・宗教改革・モラリストの思想，近代科学・ベーコン・デカルトの考え方，社会契約説・カント・ヘーゲルなどの思想，社会主義・実貪主義などの考え方の意義を考察している。 c: ルネサンス・宗教改革・モラリストの思想，近代科学・ベーコン・デカルトの考え方，社会契約説・カント・ヘーゲルなどの思想，社会主義・実貪主義などの考え方について自己の課題と結びつけて思索している。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	ﾉｰﾄ提出 授業態度
	現代の人間と社会をとらえる思想	現代の思想と人間像 生命への畏敬と社会参加	a:現代の思想の特徴を理解している。 b: 現代の思想の意義を考察している。 c: 現代の思想について自己の課題と結びつけて思索している。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	ﾉｰﾄ提出 授業態度

※令和４年度以降入学生用

3	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本固有の思想 外来思想の受容 町人思想のめざめと庶民思想 西洋思想との出会い	a:古来の日本人の倫理観，日本に流入してきた仏教・儒教，国学日本の近代思想について理解している。 b:古来の日本人の倫理観，日本に流入してきた仏教・儒教，国学日本の近代思想を考察している。 c:古来の日本人の倫理観，日本に流入してきた仏教・儒教，国学日本の近代思想について自己の課題と結びつけて思索している。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	ﾉｰﾄ提出 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度